

2G-62

21
394

蠶種檢查法規類纂

全

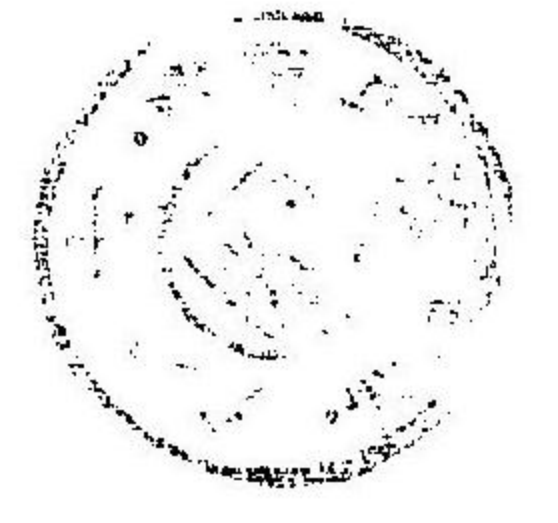
非賣品

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
一	一	十一日	九日	一	三	蠶	蠶(以下惣テ訂正)
二	四	負擔トスノ下ニ下ノ一行ヲ加フ	但シ國庫ハ其半額以内ヲ補充スルコトヲ得	二	五	但シ國庫ハ其半額以内ヲ補充スルコトヲ得	北海道及沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス
三	二	施行スル	施行スル	三	八	十六日	二十六日
三	一六	蠶卵	産卵	四	八	売	殻(以下惣テ訂正)
四	一〇	第一号	第一號 以下号ノ字 惣テ訂正	七	一三	依ラサルコトヲ行	依ラサルコトヲ得
八	四	分	分	九	一三	検査所	検査員
九	一四	検査済印	検査済印	一〇	六	出殻前検査済印	出殻前検査済印
一一	第二號	分	分	一一	九	以下五表	以下第五表
一二	第二表	分	分	一二	九	製糸用	製糸用(以下系ノ字 惣テ訂正)
一四	第三號	分	分	一四	二	扇書ヲ添へ	扇書ニ添へ
一六	六	迄ニ差出ス	迄ニ當廳へ差出ス	一六	九	右何郡區何町	右何郡(區)何町
二〇	第三號	短徑	短徑	二〇	一	右何郡區何町	右何郡(區)何町
二六	第九號	製造額、原種、製絲用種欄へ下ノ位字ヲ加フ	蛾、枚	二六	十	各枚數、蛾數、欄へ下ノ位字ヲ挿入ス	枚、蛾
二七	第十號	變更致候	變更致度候	二七	一	枚數、蛾數、欄へ下ノ位字ヲ挿入ス	枚、蛾
二九	第一號	第一行野ヲ除ク	第一行野ヲ除ク	二九	一	各小計、合計ノ下段下ノ位字ヲ挿入ス	厘
三〇	第二號	原種製糸用種欄へ右下ノ位字ヲ加フ	厘	三〇	五	第二條	第三條
三五	一	當廳ニ	當廳へ	三一	六	蠶兒ノ令期	蠶兒ノ齡期
四二	四	掲ケヘシ	掲クヘシ	四四	六	年月日ノ次行へ(備考)ノ前行へ下ノ一行ヲ加フ	東京府知事宛

C2  
431  
0111

一 蠶種検査法	一	頁
一 蠶種検査法施行規則	三	頁
一 蠶種検査法施行手續	十六	頁
一 蠶種検査手数料徴収規程	廿八	頁
一 蠶種検査心得	卅一	頁
一 蠶種検査所處務規程	卅七	頁

目次



頁	行	誤	正
四	一五	(異ニスル)ノ四字删除	
七	一三	規定ニ依ラザルコトヲ行	規定ニ依ラザルコトヲ得
九	第二号様式	道應府縣蠶種検査所	道應府縣蠶種検査員
二七	第十号書式	右變更致候ニ付	右變更致度候ニ付
四四	第五号書式		東京府知事宛追加

Vertical text on the right edge of the page, likely a library or archival stamp.

法律第四拾五號

明治三十三年三月十一日

蠶種検査法

- 第一條 本法ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種及製絲用種ヲ謂フ
- 第二條 原種ハ框製ニスヘシ
- 第三條 蠶種ハ検査ニ合格シタル原種ヨリ產生シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス
- 第四條 蠶種ハ左ニ掲クル繭ヲ以テ之ヲ製造スルコトヲ得ス
- 一 二蠶以上容同シテ作りタル繭
  - 二 繭層片薄ナル繭若ハ形狀ヲ失スルヲ著シキ繭
  - 三 繭層ノ量繭ノ全量百ニ對シ一化性ニ在リテハ十、二化性ニ在リテハ七、多化性ニ在リテハ六ニ達セザルモノ
  - 四 蠶兒ノ發育不良ニシテ取繭ノ量著シク減少シタルモノ
  - 五 蠶種製造者ニ非サル者ノ飼育シタル蠶兒ヨリ產生シタル繭
- 第五條 蠶種製造者ハ検査ニ合格シタル原種ヨリ產生シタル蠶兒ニ非サレハ飼育スルヲ得ス
- 第六條 蠶種製造者ハ収繭後及産卵後ノ二期ニ於テ原種ニ在リテハ繭蛾及卵越年スル製絲用種ニ在リテハ繭及卵越年セサル製絲用種ニ在リテハ繭ノ検査ヲ受クヘシ
- 第七條 原種ノ掃壳及第四條第壹號乃至第三號ニ掲ケタル繭ハ収繭後ノ検査ヲ經ル迄之ヲ保存スヘシ  
蠶種ノ製造ニ供用シタル繭及原種ノ製造ニ供用シタル母蛾ハ産卵後ノ検査ヲ經ル迄之ヲ保存スヘシ
- 第八條 検査ニ合格セサル蠶種ハ蠶種検査所ニ於テ直チニ之ヲ燒棄スヘシ

- 第九條 検査合格ノ證印ナキ蠶種ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス
- 第十條 地方長官ハ蠶種検査員ヲシテ蠶種製造者ニ就キ養蠶収繭及産卵ノ狀況ヲ視察セシムヘシ
- 第十一條 蠶種検査員ハ自己若ハ家族ノ製造スル蠶種ノ検査ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十二條 蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス  
但國庫ハ其ノ半額以内ヲ補充スルコトヲ得
- 第十三條 自家用又ハ學術研究ノ爲メ蠶種ヲ製造スル者ニハ本法ヲ適用セス
- 第十四條 學術研究ノ爲メ製造シタル原種ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ検査ニ合格シタルモノト看做スコトヲ得
- 第十五條 自家用又ハ學術研究ノ爲メ製造シタル蠶種ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス  
但前條ニ該當スルモノハ此ノ限リニ在ラス
- 第十六條 第三條乃至第六條第九條又ハ第十五條ニ違背シタル者又ハ蠶種検査員ノ職務執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第十七條 第七條ニ違背シタルモノハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

- 第十八條 本法ハ命令ヲ以テ指定スル地ニ之ヲ施行セス
- 第十九條 本法ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第七拾七號

明治三十年六月七日

- 第一條 蠶種検査法ニ據リ蠶種ノ検査ヲ施行スル道廳府縣ハ蠶種検査請求者ヨリ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ徴收スルコトヲ得
  - 一 原 種 壹蠶區ニ付 壹 厘
  - 一 製絲用種 壹枚ニ付 壹錢五厘
- 第二條 前條ニ依リ徴收シタル手数料ハ府縣ノ収入トス  
但北海道廳及沖繩縣ニ於テハ國庫ノ収入トス

農商務省令第拾七號

明治三十三年七月十六日

蠶種検査法施行規則

- 第一條 蠶種製造者ハ地方長官ノ定ムル期日マテニ様式第一號ニ準シ蠶種製造届書ヲ製造所々在地ノ地方長官ニ差出スコトヲ要ス
- 第二條 掃立収繭又ハ産卵ノ場所カ府縣ヲ異ニスルトキハ各地方長官ニ前項ノ届書ヲ差出スコトヲ要ス
- 第三條 蠶種製造者ハ掃立ノ際蠶量ヲ正確ニ量定スルコトヲ要ス
- 第四條 蠶種製造者ハ越年蠶種ニ在リテハ産卵前不越年蠶種ニ在リテハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ蠶紙ヲ差出ス前ニ一化性、二化性、多化性ノ別及ヒ蠶種ノ名稱ヲ蠶紙ノ表面ニ製造者ノ氏名住所ヲ其表面又ハ裏面ニ記載シ且越年蠶種ニ在リテハ産卵後ノ検査前ニ不越年蠶種ニアリテハ産卵後直チニ産卵ノ年月日ヲ蠶紙ニ記載スルコトヲ要ス

第四條 原種ヲ製造スルニハ一母蛾ヲシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其區トニ同一ノ符號ヲ附スルコトヲ要ス

第五條 原種製造ニ供用スル臺紙ハ之ヲ廿八區ニ分ツコトヲ要ス  
 蟻量一匁ニ對シ收繭ノ量一化性ニアリテハ一斗ニ升未滿ニ化性ニアリテハ九升未滿ニ化性ニアリテハ七升未滿ナルトキハ收繭ノ量著シク減少シタルモノト看做ス

第六條 蠶種ノ検査ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フ

- 一 収繭後ニ於テ繭及其原種ノ掃殺
- 二 産卵後ニ於テ卵及ヒ出壳繭不越年製絲用種ニ在リテハ出壳繭
- 三 原種ニアリテハ前二号ニ掲ケタルモノ、外其製造ニ供用シタル母蛾

第七條 前條第一号及ヒ第二号ニ掲ケタルモノ、検査ハ蠶種製造所ニ於テ之ヲ行ヒ母蛾及不越年原種ノ卵ノ検査ハ蠶種検査所ニ於テ之ヲ行フ

第八條 原種ノ名稱又ハ製造者ヲ異ニスル蠶兒繭又ハ卵ハ之ヲ混同スルコトヲ得ス  
 蠶種製造者ハ収繭後ノ検査ヲ受クル前種繭トスヘキモノヲ撰別シ其榭量ト収繭總榭量トヲ各別ニ量定シ且蠶種検査法第四條第一号乃至第三号ニ該當スルモノヲ殺蛹スルコトヲ要ス

第十條 收繭後ノ検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ其名稱ヲ異ニスル異ニスル毎ニ様式第二号ノ種繭證明書ヲ交付ス

第十一條 検査ヲ經タル掃壳ノ臺紙ニハ様式第三号ノ掃壳検査済ノ印ヲ押捺ス  
 不越年蠶種ノ製造者ハ臺紙及ヒ種繭證明書ヲ所轄蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス  
 蠶種検査所ハ原種ニ在リテハ様式第四号ノ原種用ノ印製絲用種ニ在リテハ様式第五号ノ製絲用種検査合格ノ證印ヲ臺紙ノ裏面ニ押捺シ且原種用ト製絲用トニ區別シテ臺紙ノ數ヲ種繭證明書

ニ記載ス

第十二條 不越年原種ノ製造者ハ製造後直チニ原種及ヒ母蛾ヲ所轄蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス  
 第十三條 不越年蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ爲シタルトキハ種繭證明書ニ様式第六号ノ出壳繭検査済ノ印ヲ押捺シ且産卵ニ供用セザリシ臺紙アルトキハ其證印ノ上ニ様式第七号ノ消印ヲ押捺ス

第十四條 越年蠶種ノ産卵後ノ検査ヲ爲シタルトキハ原種ニアリテハ様式第四号ノ原種用ノ印製絲用種ニ在リテハ様式第五号ノ製絲用種検査合格ノ證印ヲ蠶種臺紙ノ裏面ニ押捺シ且種繭證明書ニ様式第六号ノ出壳繭検査済ノ印ヲ押捺ス

第十五條 越年原種ノ母蛾ノ検査期日ハ毎年九月一日以後ニ於テ地方長官之ヲ定ム  
 第十六條 母蛾ノ検査ヲ爲スニ當リ微粒子ヲ發見シタルトキハ様式第八号ノ有毒ノ印ヲ微粒子ヲ發見セザルトキハ様式第九号ノ無毒ノ印ヲ其産卵シタル區ニ押捺ス

第十七條 有毒卵ノ區及ヒ母蛾ノ飲タル區ヲ除去シタル後臺紙ニ様式第九号ノ原種検査合格ノ證印ヲ押捺ス  
 蠶種臺紙ヲ截斷シテ蠶種ヲ讓渡セントスル者ハ検査ヲ受クル前臺紙ノ裏面ニ截斷スヘキ部分ヲ區別シ其各部分ニ検査合格ノ證印ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ其各部分ニ第三條ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第十八條 原種ノ製造ニ供用シタル母蛾カ亡失又ハ混亂シタルトキハ其蠶種ニ對シ製絲用種検査合格ノ證印ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 種繭證明書カ毀損又ハ滅失シタルトキハ蠶種製造者ハ更ニ其交付ヲ請求スルコトヲ得  
 蠶種製造者カ収繭後ノ検査ニ合格シタル繭ノ全部又ハ一部ヲ讓渡セントスルトキハ當事者双方

第二十條 連署シ讓渡人ノ所轄蠶種検査所ニ種繭證明書ノ書換ヲ請求スルコトヲ要ス  
 蠶種検査所カ書換ヲ爲シタルトキハ直ニ其旨ヲ讓受人ノ所轄蠶種検査所ニ通知スルコトヲ要ス

第二十一條 繭ノ授受ヲ終リタルトキハ讓受人ハ直チニ其旨ヲ所轄蠶種検査所ニ届出ルコトヲ要ス  
蠶種検査法ニ於テ自家用ノ爲メ蠶種ヲ製造スル者トハ自ラ掃立ラタル蠶兒ヨリ産出シタル繭ヲ以テ自家飼育ニノミ供用スル蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第二十二條 學校、講習所、傳習所、試驗場其他學術研究ノ爲メ蠶種ヲ製造スル者ニシテ蠶業ニ關スル學識經驗アル職員二名以上ヲ有シ且蟻量十匁以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室、蠶具其他ノ設備ヲ有スルモノハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケテ其製造シタル蠶種ヲ原種トシテ配付スルコトヲ得

第二十三條 前條ノ認可ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得  
前條ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 名稱 及 所在

二 蠶業ニ關スル設備

三 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規程

四 蠶業ニ關スル職員ノ氏名及ヒ履歷

前項第一号乃至第三号ニ掲ケタル事項ヲ變更シ又ハ職員ニ異動ヲ生ジタルトキハ直チニ其旨ヲ農商務大臣ニ届出ルコトヲ要ス

第二十四條 第廿二條第一項ノ認可ヲ受ケタル者ハ毎年一月三十一日マテニ様式第十一号ニ依リ前年ノ成績表ヲ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第二十五條 前二條ノ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

第二十六條 蠶種検査員ハ様式第十二号ノ證書ヲ携帯スルコトヲ要ス

第二十七條 蠶種検査員ハ左ニ掲ケタル者ヨリ地方長官之ヲ命ス

一 農商務省蠶業講習所、農務局舊蠶業試驗場又ハ農務局假試驗場蠶事部ヲ卒業シタル者

二 農務局ノ檢定試驗ニ及第シタル者

三 地方長官ノ信認セル學校講習所傳習所又ハ試驗場ニ於テ蠶業ニ關スル學科ヲ修了シタル者

四 蠶業ニ熟達シ成繭監査ニ精通スル者

第二十八條 地方長官カ蠶種検査員ヲ命免シタルトキハ其氏名ヲ告示スルコトヲ要ス

第二十九條 地方長官カ蠶種検査所ノ位置若クハ管轄區域ヲ定メ又ハ之レヲ變更シタルトキハ其旨ヲ告示スルコトヲ要ス

蠶種検査所ヲ開始シ又ハ閉鎖シタルトキ亦同シ

第三十條 地方長官ハ毎年五月十五日マテニ様式第十三号ニ依リ前年度検査成績表ヲ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第三十一條 蠶種ノ検査ニ關スル手續ハ地方長官之ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

附 則

第三十二條 本則ハ明治三十三年法律第四十五号蠶種検査法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
但本則施行ノ日ヨリ一年間ハ第四條第二項ノ規定ニ依ラザルコトヲ行

明治三十年農商務令第八号蠶種検査法施行細則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號

蠶種製造屆書

化性	期名	原種掃立	原種掃立	製造豫算額	製造所
一化性					
二化性	第一化				
多化性	第一化				
	第二化				
	第三化				
	第四化				
合計					

備考

多化性ニ第五化以上ノモノアルトキハ相當ノ欄ヲ設ケ之ヲ記入シ同化期ノモノニ越年種ト不越年種トアルトキハ各別ニ之ヲ記載スヘシ  
 掃立取繭又ハ産卵ノ場所ヲ異ニスルトキハ製造所ノ欄ヲ區分シテ之ヲ記載スヘシ

第二號 種繭檢證明書

番 號 \_\_\_\_\_ 種繭證明書

住 所 \_\_\_\_\_ 蠶種製造者 氏 名 \_\_\_\_\_

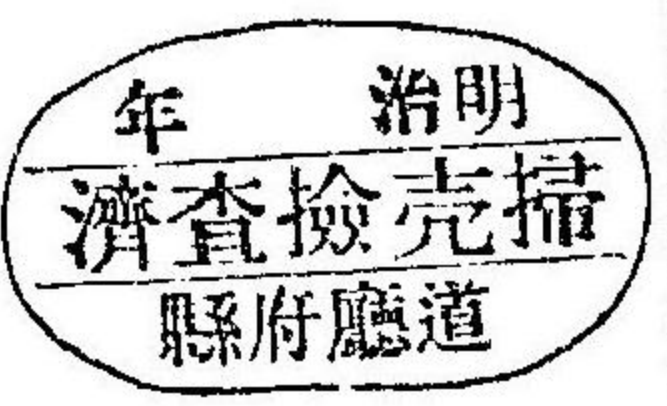
一 名 種 \_\_\_\_\_  
 一 化 性 及 化 期 \_\_\_\_\_  
 一 樹 量 \_\_\_\_\_

右種繭檢査ニ合格シタルコトヲ證ス

年 月 日 \_\_\_\_\_ 道廳府縣蠶種檢査所 氏 名 \_\_\_\_\_

第三號 掃壳檢査濟印

橢圓形  
 長徑一寸二分  
 短徑八分  
 肉色黑





第四號 原種用印

肉徑圓  
色七分  
黑分形



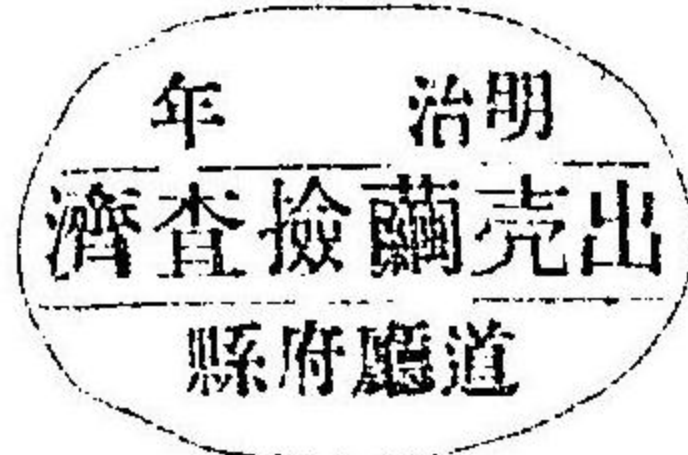
第五號 製絲用種檢查合格證印

肉短長橢  
徑徑圓  
色一五  
朱寸五分形



第六號 出壳繭檢查濟印

肉短長橢  
徑徑圓  
色六  
黑分一寸形



第七號 消印

肉橫縱長  
色五一分  
黑分寸形



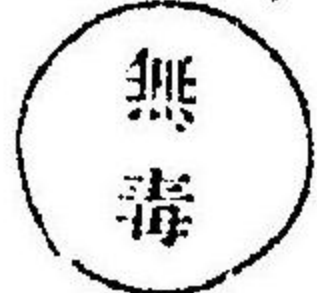
第八號 有毒印

肉橫縱長  
色二三分  
黑分寸形



第九號 無毒印

肉徑圓  
色二分五  
朱厘形



第十號 原種檢查合格證印

肉徑圓  
色一寸五  
朱分形



第十一號 明治 年成績表

化性	化期	名稱	原種掃 立蛾數	原種掃 立蟻量	收繭			額	蠶種 合格	種 其他	額	蠶 其他	額
					種	合	額						
一化性													
二化性	第一化												
、、、	第二化												
、、、													
多化性	第一化												



第二表ノ二

二化性原種掃立蛾數及蟻量

郡市	第一		第二		第三		第四	
	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
合計								

第二表ノ三

多化性原種掃立蛾數及ヒ蟻量

郡市	第一		第二		第三		第四	
	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
合計								

第三表ノ一

一化性繭柘量

郡市	合格種繭			其他	合計
	合格	種	繭		
合計					

備考 二化性及ヒ多化性ニ付テハ第二表ニ準シテ本表ヲ調製スヘシ

第四表ノ一

一化性製絲用種枚數

郡市	合格			不合格	合計
	合格	種	枚		
合計					

備考 原種用ノ印アルモノニ製糸用種検査合格ノ證印ヲ與ヘタルトキハ越年種ニアリテハ百蛾區不越年種ニアリテハ五十蛾區ヲ以テ一枚ニ換算シ端數ハ四捨五入スヘシ  
二化性及ヒ多化性ニ付テハ第二表ニ準シテ本表ヲ調製スヘシ

第五表ノ一

一化性原種蛾數

郡市	無毒		有毒		其他		合計
	無毒	有毒	無毒	有毒	其他		
合計							

備考 二化性及多化性ニ付テハ第二表ニ準シ本表ヲ調製スヘシ

農商務省令第十八號

明治三十三年八月二日

十六

明治三十四年ニ於テ蠶種ヲ製造スルモノハ明治三十三年七月二十六日農商務省令第十七號蠶種検査法施行規則第一條ノ規定ニ依リ蠶種製造届書ヲ差出スコトヲ要ス

東京府令第十一號

明治三十四年三月十六日

蠶種検査法施行手續

- 第一條 蠶種検査法施行規則第一條ノ蠶種製造届書ハ毎年三月十五日迄ニ差出スコトヲ要ス  
但届出ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ直ニ其旨ヲ届出ツヘシ
- 第二條 蠶種製造者製造所ノ管理ヲ自ラ爲スコト能ハサルトキハ相當代理人ヲ定メ第一号書式ニ依リ双方連署ノ上蠶種製造届書ヲ添ヘ届出ツルコトヲ要ス
- 第三條 製造所ヲ異ニシタル蠶兒繭及卵ハ混同スルコトヲ得ス  
但蠶種検査員ノ承認ヲ得タルモノハ此限ニアラス
- 第四條 蠶種製造者製種用原種ノ掃立ヲ了リタルトキハ直ニ第二号書式ニ依リ蠶種検査所ニ届出ルコトヲ要ス
- 第五條 但數回ニ掃立ツルトキハ其都度届出ヘシ
- 第五條 原種ノ掃立ハ蠶種ノ製造ニ供用セサルモノト雖モ收購後ノ検査ヲ經ル迄之ヲ保存スルコトヲ要ス
- 第六條 蠶種製造者製種用蠶兒ヲ授受セントスルトキハ第三号書式ニ依リ双方連署ノ上蠶種検査所ニ届出テ之カ承認ヲ受クルコトヲ要ス

但此場合ニ於テハ其ノ掃立ヲモ授受スヘシ

買受又ハ讓受ケタル蠶兒ハ他ノ蠶兒ト混同スルコトヲ得ス

- 第七條 製種用蠶兒ノ上簇ヲ了リタルトキハ第四号書式ニ依リ上簇届ヲ直ニ蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス

但數回ニ上簇セシメタルトキハ其ノ都度届出ヘシ

- 第八條 種繭ハ速カニ撰別ヲ終リ第五号書式ニ依リ收購届書ヲ作り置キ蠶種検査員臨檢ノ際之ヲ差出スコトヲ要ス

- 第九條 蠶種ノ製造ニ供スル蠶兒ヨリ產出シタル繭ハ收購後ノ検査ヲ經ルニアラサレハ他所ニ搬出スルコトヲ得ス

- 第十條 蠶種検査法施行規則第十九條ニ依リ種繭證明書ノ交付ヲ請求セントスルトキハ其ノ事由ヲ記シ又同則第二十條ニ依リ種繭證明書ノ書換ヲ請求セントスルトキハ第六号書式ニ依リ請求書ヲ蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス

但毀損ニ依リ再交附ヲ請求セントスルトキハ其ノ毀損シタル證明書ヲ添付スヘシ

- 第十一條 蠶種製造用ノ臺紙ハ縦一尺一寸七分横七寸四分框製一蛾區ハ内徑一寸四分ノ圓環ヲ容ル、ニ足ルヲ以テ標準トス

- 第十二條 原種製造用ノ臺紙ニハ番号ヲ附シ其ノ蛾區ノ符号ハ數字ヲ用フルコトヲ要ス

但臺紙ノ番号ハ一名稱毎ニ新ニ起スコトヲ要ス

母蛾ハ成ルヘク二十八區連接ノ紙袋ニ入レ之レニ臺紙ト同一番号並ニ符号化性、化期、名稱及製造人ノ氏名ヲ記載スヘシ

十七

第十三條 不越年蠶種ノ收購後ノ検査了リタルトキハ直ニ第七号書式ニ依リ紙證提出請求書ヲ作リ蓋紙及種簿證明書ヲ添ヘ之ヲ蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス

第十四條 不越年製絲用蠶種ノ蓋紙ハ之ニ産卵セルムヘキ蠶數ヲ其ノ表面ニ記入スルコトヲ要ス  
第十五條 蠶種製造者他ノ廳府縣ノ産卵ヲ用ヒ蠶種ヲ製造シ産卵後ノ検査ヲ受ケントスルトキハ其ノ原料産出地名ヲ蓋紙ノ裏面ニ記入スルコトヲ要ス

第十六條 不越年原種ノ製造了リタルトキハ出入号書式ニ依リ不越年原種母蛾検査請求書ヲ作リ卵及母蛾ヲ添ヘ之ヲ蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス

第十七條 蠶種ノ製造了リタルトキハ三日以内ニ第九号書式ニ依リ蠶種製造額届書ヲ蠶種検査所ヲ經テ當廳ヘ差出スヘシ

第十八條 蠶種検査法施行規則第十八條ニ依リ製絲用種合格證明ヲ請求セントスルトキハ第十号書式ノ請求書ヲ作リ蠶種ヲ添ヘ之ヲ蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス

第十九條 越年原種母蛾ノ検査ハ毎年九月一日ヨリ開始ス  
第二十條 蠶種製造者越年原種母蛾ノ検査ヲ請求セントスルトキハ第十一号書式ノ越年原種母蛾検査請求書ヲ作リ卵及母蛾ヲ添ヘ豫メ指定シタル期日迄ニ蠶種検査所ニ差出スコトヲ要ス

第二十一條 蠶種検査所ハ蠶種製造者ノ原種ヲ保管スルトキハ其ノ請求ニ因リ預リ證ヲ交付スヘシ  
第二十二條 蠶種製造者原種検査済ノ通知ヲ受ケタルトキハ蠶種検査所ニ出頭シ蠶種ノ枚數及證明ノ有無ヲ取調蠶種ヲ受領シ預リ證ヲ返納スヘシ

第二十三條 蠶種検査法施行規則様式第四号第五号及第十号ノ印ヲ押捺スルトキハ同時ニ本手續第一号雛形ノ印ヲ押捺スヘシ

第二十四條 母蛾ノ亡失シタル區ニハ本手續第二号雛形缺蛾ノ印ヲ押捺スヘシ蠶種製造者缺蛾區又ハ有母印

ノ區ヲ除去シ無母印ノ區ヲ以テ之ヲ填補セントスルトキハ蠶種検査所ニ於テ自ラ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ蠶種検査所ハ之ニ第三号雛形ノ繼印ヲ押捺スヘシ

第二十五條 蠶種製造者ハ蠶種検査法第八條ノ手續施行ノ場合ニ於テ之ニ立會ヲ請求スルコトヲ得  
第二十六條 蠶種ノ經過ニ依リ其ノ活性化期ニ變更ヲ生シタルトキハ蠶種製造者ハ直チニ其ノ旨ヲ蠶種検査所ニ届出ツルコトヲ要ス

第二十七條 前項ノ場合ニ於テハ蠶種検査所ハ變更ノ事項ヲ其ノ蠶種帳ノ裏面ニ記載スヘシ  
第二十八條 蠶種製造者又ハ其ノ代理人原種届立ノ後産卵後ノ検査結了前ニ外出セントスルトキハ相當受檢代理人ヲ定メ置クヘシ

第二十九條 蠶種製造者蠶種ノ製造ヲ廢止スルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ直チニ蠶種検査所ヲ經テ當廳ニ届出ツルコトヲ要ス  
但種簿證明書アルモノハ之ヲ返納スヘシ

第三十條 當廳ハ蠶種検査監督員ヲシテ蠶種製造所ニ就キ其ノ實況ヲ視察セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ蠶種製造者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス  
但監督員ニハ其ノ證票ヲ携帯セシム

第三十一條 本則ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス  
第三十二條 明治三十一年三月東京府令第廿一号蠶種検査法實施手續ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附 則

第三十條 本則ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス  
第三十二條 明治三十一年三月東京府令第廿一号蠶種検査法實施手續ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

雛形 第一号

方六分  
肉色朱

東京府蠶種検査員  
何某印

第二号

圓徑二分五厘  
肉色青

欽蛾

二十

第三号

楕圓  
長徑三分  
短徑二分  
肉色朱

繼印

第一号 書式

代理人 届

何郡(區)何町(村)何番地

氏 名

右何郡區何町(村)何番地製造所擔當代理人ト相定メ候條此段及御届候也

何郡(區)何町(村)何番地

本人 氏 名

同

代理人 氏 名

東京府知事宛

年 月 日

第三号 書式

掃立届

化性	化期	名稱	原種	掃立	掃立	製造	所
一化性			蛾	蟻	量		
二化性	第一化						
三化性	第二化						
右及御届候也							
何郡(區)何町(村)何番地							
年 月 日							
氏 名							
蠶種検査所宛							

(備考) 代理人ヨリ届出ツルモノハ何郡(區)何町(村)何番地何某代理人ト肩書スルヲ要ス以下各届書皆同シ

第三號 書式

製種用蠶兒賣買(讓與)届			
化性	化期	名稱	掃立
			蛾數
			届出
			量
			蛾賣
			數買
			(讓與)
			蠶量
右賣買(讓與)候間連署ヲ以テ此段及御届候也			
	年 月 日	何郡(區)何町(村)何番地	
	授 人	氏 名	(印)
	同 受 人	氏 名	(印)
蠶種検査所宛			

第四號 書式

上 簇 届	
化性	化期
名稱	上簇月日
種繭撰別	豫定月日
製造所	
右及御届候也	
	年 月 日
	何郡(區)何町(村)何番地
	氏 名 (印)
蠶種検査所宛	

第五號 書式

取繭届									
調查事項	名稱								
	一化性	(又)	二化性	多化性	別	及其	化期	上	全
取繭總掛量									
撰別種繭掛量									
製絲用繭掛量									
同功繭掛量									
繭屑片薄薄皮									
不正形繭掛量									
發蛾豫定月日									
原種用製造									
豫算蛾數									

製糸用種 造豫算紙 全上一枚 産卵豫定 産卵枚數									
右及御届候也	年	月	日	何郡(區)何町(村)何番地	氏	名	印		
蠶種検査所宛									

第六號 書式

種繭證明書書換請求書									
化性	化期	名稱	種繭樹量	讓渡種繭樹量	現在種繭樹量	讓渡人	製造所		
右請求候也	年	月	日	何郡(區)何町(村)何番地	讓渡人	氏	名	印	
				同	讓受人	氏	名	印	
蠶種検査所宛									

第七號 書式

不越年蠶種臺紙證印請求書									
化性	化期	名稱	種繭證明書番号	種繭樹量	原種	蠶種製造豫算枚數	製糸用種	何蛾付何枚	發蛾豫定月日
右請求候也	年	月	日	何郡(區)何町(村)何番地	氏	名	印		
蠶種検査所宛									

第八號 書式

不越年原種母蛾検査請求書									
化性	化期	名稱	原種枚數	産卵蛾數	産卵月日	孵化豫定月日			
右請求候也	年	月	日	何郡(區)何町(村)何番地	氏	名	印		
蠶種検査所宛									



第九號 書式

蠶種製造額届						
化性化	期名	稱	出壳繭樹量	産卵月日	蠶種製造額	殘餘枚數
					原種 製糸用種	原種 製糸用種
右及御届候也						
年 月 日						
何郡(區)何町(村)何番地						
氏 名 (印)						
蠶種検査所宛						

(備考) 越年蠶種ニハ最下ノ一欄ヲ要セス

第十號 書式

原種用變更請求書					
化性化	期名	稱	原種用	製糸用種ニ變更	原種用現在數
			枚數一蛾數	枚數一蛾數	枚數一蛾數
右變更致候ニ付證印相成度候也					
年 月 日					
何郡(區)何町(村)何番地					
氏 名 (印)					
蠶種検査所宛					

第十一號 書式

越年原種母蛾検査請求書					
化性化	期名	稱	枚數	蛾數	蛾數
右請求候也					
年 月 日					
何郡(區)何町(村)何番地					
氏 名 (印)					
蠶種検査所宛					

東京府令第十二號

明治三十四年三月十六日

廿八

蠶種検査手数料徴収規程

- 第一條 蠶種検査手数料ハ左ノ通徴収ス
  - 一 原種 一 蛾區ニ付 金壹 厘
  - 二 製絲用種 一枚ニ付 金壹錢五厘
- 第二條 蠶種検査員産卵後ノ検査ヲ爲シタルトキハ原種蛾數及製絲用種ノ枚數ヲ精査シ蠶種検査所ヲ經テ第一号書式ニ依リ蠶種製造者所轄ノ郡區長ニ報告スヘシ
- 第三條 郡區長ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ二十日以内ニ蠶種検査手数料ヲ徴収スヘシ
- 第四條 郡區長ニ於テ蠶種検査手数料ヲ徴収シタルトキハ第二号書式ニ依リ其ノ都度之ヲ蠶種検査所ニ通知スヘシ
- 第五條 本規程ニ依リ徴收シタル手数料ハ蠶種検査法施行規則第十八條ノ場合ト雖モ變更セサルモノトス
- 第六條 本規程ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

附 則

樣 式

第一號 書 式

右及報告候也 年 月 日 郡區長宛	合計	期化性化			期化性化			報告番號	検査證印ヲ與ヘタル數量	同上手數料	蠶種製造人 何 某
		原種	製絲用種	小計	原種	製絲用種	小計				
		厘	厘	厘	厘	厘	厘				

何郡(區)何町(村)何番地

第二號 書式

蠶種検査手数料収納 番号	年月日	全上徴收金額	種 製糸用種	蠶種製造者 住所氏名

右蠶種検査手数料徴収済ニ付及通知候也

年 月 日

何 郡 (區) 役 所 印

蠶種検査所宛

東京府訓令第三號

明治三十四年三月十六日

蠶種検査心得

- 第一條 養蠶期中ハ掃立後及上簇前ニ於テ各飼育場ニ就キ其ノ實況ヲ左ノ順序ニ依リ視察スヘシ
  - 一 原種掃立ノ裏面ニ製種用ト糸繭用トノ種別ヲ記載シ之ニ自己ノ檢印ヲ押捺スヘシ
  - 二 掃立蛾數ト蠶量ノ適否ヲ視察シ不適當ノモノアルトキハ其ノ事由ヲ調査スヘシ
  - 三 掃立蠶量ニ對スル蠶兒ノ多寡ヲ視察シ不適當ノモノアルトキハ其ノ原因并ニ狀況ヲ調査スヘシ
  - 四 蠶兒成育ノ良否ヲ視察シ不良ノモノアルトキハ其ノ原因及狀況ヲ調査スヘシ
  - 五 病蠶ノ有無ヲ視察シ病蠶アルトキハ其ノ種類及原因狀況ヲ調査スヘシ
- 第二條 取繭及産卵ノ狀況ハ必要ニ應ジ適宜其ノ製造場ニ就キ視察スヘシ
- 第三條 蠶種検査法施行規則第六條第一号ノ検査ヲ爲スニ當リテハ検査法第三條乃至第五條ニ違背セサルヤ否ヤ及蠶種製造豫定額ヲ檢シ適當ト認メタルモノニ對シ種繭證明書ヲ交付スヘシ
  - 蠶種製造豫定額ヲ檢スルニハ種繭ノ總量ヲ五分シ其ノ各部中ヨリ各一升宛ヲ量取シ其ノ一升ノ平均顆數ヲ定メ之ヲ種繭ノ總樹量ニ乘シ其ノ顆數トシ次ニ五分シタル各部ノ繭若干ツ、ヲ切開シテ其ノ發蛾歩合ヲ定メ之ヲ種繭ノ顆數ニ乘シ其ノ半數以內ヲ以テ産卵セシメ得ヘキ蛾數ノ標準トナスヘシ
- 第四條 種繭撰別ノ良否ヲ査定スルニハ先ツ其ノ全体ニ就キ肉眼鑑定ヲ行ヒ次ニ繭層ノ量ヲ檢スルニハ種繭ヲ五部ニ別テ其ノ各部中ヨリ法定ノ繭層量ニ達セスト認メタル繭若干ツ、ヲ撰出シテ之ニ充テ其ノ不完全ナルトキハ再撰ヲ命スヘシ
- 第五條 蠶種検査法施行規則第十一條ノ場合ニハ蠶紙ノ數及種繭證明書ヲ蠶紙ニ照合シ且同第三條ノ規

定ニ違背セルヤ否ヤヲ檢定スヘシ

第六條 蠶種檢査法施行規則第十三條ノ手續ハ蠶種製造所ニ於テ出壳繭種繭證明書及蠶種製造届額トヲ照合シタル後之ヲ行フヘシ

第七條 蠶種檢査法施行規則第十四條ノ手續ハ卵、出壳繭及種繭證明書ヲ照合シタル後之ヲ行フヘシ  
出壳繭ヲ檢査スルニ當リテハ蠶種檢査法第二條及第四條ニ違背セサルヤ否ヤヲ檢定シ次ニ平均一升ノ出壳顆數ヲ定メ之ヲ出壳繭ノ總樹量ニ乘シ其ノ半數以內ヲ以テ産卵セシメタル蛾數ノ標準トスヘシ

第九條 母蛾ノ檢査ヲナスニハ一蛾毎ニ乳鉢ニ入レ苛性加里、稀薄液少許ヲ加ヘテ能ク磨潰シ其ノ液ヲ顯微鏡ニ照シ微粒子ノ有無ヲ檢定スヘシ  
但無毒ト決スルニハ必ス每鏡面周圍及中央ヲ丁寧ニ拾視野以上視察スヘシ

第十條 前條ノ檢査ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ行フヘシ  
一 母蛾檢査ニ從事セントスルトキハ第一號書式ノ檢査票ニ性化期名稱原種臺紙番號及檢査月日等ヲ記入シ次ニ微粒子ノ有無ヲ查定シタルトキハ其ノ結果ニ從ヒ有毒ハ(十)無毒ハ(一)又缺蛾區アリタルトキハ(ム)ノ符號ヲ檢査票ニ附シ檢査終了ノ後之ニ蛾數及製造者ノ氏名ヲ追記シ主任檢査員ノ檢印ヲ捺シ順次之ヲ編綴スヘシ

第十一條 蠶種檢査法施行規則第一條第二項ノ事由ニ依リ檢査手續ノ一部カ他府縣蠶種檢査所ニ推移シタル場合ニハ檢査成蹟ヲ速ニ其ノ推移シタル蠶種檢査所ニ通知スヘシ

第十二條 原種用ノ印ヲ捺シタル蠶種ヲ製絲用種ニ變更出願シタルトキ又ハ其他ノ事由ニ依リ臺紙證印續ヲナスヘシ

第十三條 取消ノ必要アルトキハ其ノ既ニ捺印シアルモノニ斜線黒抹スヘシ

蠶種檢査員ハ第二號書式ノ手帳中ニ出張中ノ視察并ニ檢査事項ヲ記入シ當テ報告ノ材料ト爲スヘシ

樣式 第一號

母蛾檢査票		原種臺紙番號	製造者氏名
性化	期化	稱名	
一	二	三	四
八	九	一〇	一一
一五	一六	一七	一八
二二	二三	二四	二五
			二六
			二七
			二八
蛾數	自毒	無毒	
計台	欠	檢査年月日	主任
			檢査員印

蠶種製造人		何郡區何町村何大字番地		氏名	
檢印	監督	主任	主任	主任	主任
一掃立蟻量視察	視察	月	日	一蠶兒成育ノ狀況視察	視察
化性化期及名稱	視察	月	日	蠶室內ノ温度	蠶齡ノ經過時日
蠶種製造屆蛾數	掃立	月	日	蠶箔一枚ノ面積	并其ノ平均頭數
其ノ蛾數	蠶種製造屆蛾數ノ掃立蛾數トノ比較増減	蠶箔及蠶兒ノ總數	蠶兒生育ノ良否事項	病蠶ノ各種類	健蠶百ニ對スル病蠶歩合
糸繭用掃殼蛾數	掃立蟻量高	掃立蛾數ト蟻量ノ適否	蠶室內ノ温度	蠶齡ノ經過時日	成育不良ノ原因及其ノ狀況

蠶座一平方尺內蠶兒頭數	蟻量一匁ニ對スル蠶座面積	蠶箔一枚ノ面積及枚數	蠶兒ノ健否狀況	蠶兒賣買授受ノ事項	變更又廢業等ノ事項	其他參考トナルヘキ必要事項
檢査	月	日	檢査	月	日	檢査
上簇及収繭ノ月日	種繭ノ總樹量	種繭ノ樹量	種繭一升ノ顆數	種繭一樹ニ對スル不出蛾數	種繭總樹量ノ出蛾數	同半數ノ出蛾數
種繭一升ノ顆數	種繭一樹ニ對スル不出蛾數	種繭總樹量ノ出蛾數	同半數ノ出蛾數	種繭一樹ニ對スル不出蛾數	種繭總樹量ノ出蛾數	同半數ノ出蛾數

檢印	監督	主任	主任	主任	主任
一種繭及掃殼檢査	檢査	月	日	一種繭及出殼繭檢査	檢査
上簇及収繭ノ月日	種繭ノ總樹量	種繭ノ樹量	種繭一升ノ顆數	種繭一樹ニ對スル不出蛾數	種繭總樹量ノ出蛾數
種繭ノ總樹量	種繭ノ樹量	種繭一升ノ顆數	種繭一樹ニ對スル不出蛾數	種繭總樹量ノ出蛾數	同半數ノ出蛾數

種繭ノ總額數	原種ノ蛾數及枚數
製糸用繭及同功繭片 薄不正繭其他辨量	原種ノ區劃及無 卵數
蠶量一匁ニ對スル 収繭量	製糸用種ノ枚數及 蛾數
種繭一升ノ發蛾 歩合	製糸用種一枚産卵 蛾數
産卵セシムヘキ標 準蛾數	原種製糸用種ノ總 蛾數
繭 府ノ 量	産卵 月 日
種繭證明書交付月 日番号	不越年蠶種蠶紙殘 餘枚數
再撰ヲ命シタル總 ノテ事項	檢査手數料ノ全額 及其ノ内譯
不合格アリタル時 ハ其ノ事由	其他參考トナルヘ キ必要事項
蠶室内温度及發蛾 月日	
種繭買授受 ノ事項	
變更廢業ノ事項	
其他參考トナルヘ キ必要事項	
収繭視 察狀況	産卵視 察狀況

### 東京府訓令第十五号

明治三十四年四月二十三日

#### 蠶種檢査所處務規程

- 第一條 蠶種檢査所ニ左ノ職員ヲ置ク
- 一 主 幹 一 名 首席檢査員ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一 檢査員 若干名
  - 一 事務員 若干名
  - 一 助 手 若干名
- 第二條 主幹ハ所員ヲ監督シ檢査所一切ノ事務ヲ統理ス  
 檢査員ハ主幹ノ指示ヲ受ケ檢査ニ從事ス  
 事務員ハ主幹ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス  
 助手ハ主幹ノ指揮ヲ受ケ檢査ヲ補助ス
- 第三條 執務時間ハ常態ノ例ニ依ル但シ事務ノ都合ニ依リ主幹ニ於テ之ヲ延長シ又ハ廢休ヲ爲スヲ得
- 第四條 檢査員ハ出勤ノ際直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ若シ疾病其他ノ事故ニ依リ出勤スルコト能ハサル  
 トキハ其旨ヲ蠶種檢査所ヲ經テ當廳ニ届出ツヘシ
- 第五條 檢査所員ハ退所時限後ト雖モ主幹在所中ハ其ノ承認ヲ受クルニアラサレハ退所スルコトヲ得ス
- 第六條 檢査所ニ到着シタル文書ハ親展書ヲ除クノ外ハ事務員之ヲ收受シ其ノ月日番號件名ヲ收受簿ニ  
 記載シタル後主幹ニ差出スヘシ主幹ハ之ヲ檢閲シ主任ヲ定メ速ニ處理セシムヘシ
- 第七條 事務ノ處辨ハ主任之ヲ起案シ主幹ノ決裁ニ依リ施行スヘシ但シ事件ノ重要ナルモノハ各員ノ合  
 議ヲ歷ヘシ
- 第八條 發送ノ文書ハ事務員淨書校合シ其ノ件名年月日宛名ヲ發送簿ニ記入シタル後發送スヘシ

- 第九條 検査所ニハ蠶種製造臺帳ヲ置ク  
但シ其ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 検査所員ハ當廳ノ許可ヲ受クルニアラザレハ検査所ノ書類並ニ器具機織藥品類ヲ他人ニ展覽セシメ又ハ貸與シ若クハ贈本類ヲ與フルコトヲ得ス
- 第十一條 検査員及事務員ハ交互一名ツ、宿直シ退所後文書ノ收受並ニ所内取締ノ責ニ任スヘシ
- 第十二條 検査所用ノ物品ハ別ニ令達スル所ノ經費豫算月額ヲ限度トシ必要ニ應ジ主幹之レヲ購入スルコトヲ得
- 第十三條 前條ニ依リ購入シタル物品ノ代價ハ正當受取人ノ請求書ヲ添ヘ速ニ其支拂ヲ當廳ニ請求スヘシ
- 第十四條 検査所ノ物品ハ明治二十七年三月東京府訓令第八十四號地方稅物品會計規程同第八十五號物品出納簿式同第八十六號地方稅物品證明規程ニ依リ取扱フヘシ
- 第十五條 検査所備付ノ印章並ニ鎖鑰類ハ主幹之レヲ保管シ退所セントスルトキハ之レヲ其容器ニ納メ鎖鑰ヲ施シ宿直員ノ監守ニ付スヘシ但シ其ノ容器ノ鑰ハ主幹自ラ之レヲ保管スヘシ
- 第十六條 検査中預リ置キタル原種及母蛾ハ検査員ニ於テ之ヲ保管シ其ノ紛失損傷混亂等ニ對シ各自其ノ責ニ任スヘシ
- 第十七條 検査員ニ於テ視察及検査ノ爲出張セントスルトキハ豫メ主幹ノ承認ヲ得巡回豫定場所日限等ヲ巡回簿ニ記載捺印シ其ノ檢印ヲ受クヘシ
- 第十八條 前項ノ場所日限ニ變更ヲ生シタルトキハ歸所後直ニ主幹ノ承認ヲ得巡回簿ヲ訂正スヘシ  
検査員ハ掃立蟻量、蠶兒ノ成育收購及産卵ノ狀況視察並ニ種繭掃殻、蠶種出殻繭ノ検査ヲ爲シタルトキハ蠶種檢査心得第十三條規程ノ手帳面ト同一事項ヲ歸所毎ニ主幹ニ報告スヘシ
- 第十九條 前條掃立蟻量以下ノ視察及検査ノ結了シタルトキハ主幹ハ其ノ結果ヲ精査シ第一号乃至第四號

- 第二十條 書式ニ依リ其ノ都度二十日以内ニ當廳ニ上申スヘシ  
製種用ノ蠶兒、繭ノ賣買讓與種繭證明書ノ交付不越年蠶種臺紙證印等ニ關シテハ各別ニ臺帳ヲ調製シ該當ノ事項ヲ明確ニ記載スヘシ
- 第二十一條 種繭證明書ニハ前項ノ種繭證明書臺帳ニ掛ケ割印ヲナスヘシ  
原種母蛾檢査ノ請求アリタルトキハ請求書ニ母蛾及原種ヲ對照シ之ヲ受理シ原種母蛾檢査受付簿ニ之ヲ登錄シ主幹ニ差出スヘシ
- 第二十二條 検査濟原種ヲ還付スルトキハ之レヲ原種還付簿ニ記載シ且其ノ受領者ヲシテ該簿ニ押印セシムヘシ
- 第二十三條 原種母蛾檢査ノ際ハ其ノ成績ヲ調査シ一週間毎ニ第五号書式ニ依リ當廳ニ上申スヘシ  
前項ノ檢査ヲ結了シタルトキハ其成績ヲ取纏メ翌年三月末日限リ第六號並ニ蠶種檢査法施行規則第十三號ノ書式ニ依リ當廳ニ上申スヘシ
- 第二十四條 蠶兒合格種繭及原種用蠶種ニ異動ヲ生シタルトキハ第七號乃至第九號書式ニ依リ當廳ニ上申スヘシ但シ蠶兒及合格種繭ノ異動ハ第三号第四号上申書ニ原種用蠶種ノ異動調書ハ第六号上申書ニ添付差出スヘシ

附 則

第二十五條 明治三十一年四月東京府訓令甲第二七号蠶種檢査所處務規程ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス

第一号 書式

掃立蟻量視察上申書

(△印ハ朱書)

甲	乙	丙	蠶種製造者ノ原種掃立ノ蟻量			蠶種製造者ノ原種掃立ノ蟻量			蠶種製造者ノ原種掃立ノ蟻量	
			原種掃立蟻量	原種掃立蟻量	原種掃立蟻量	原種掃立蟻量	原種掃立蟻量	原種掃立蟻量	原種掃立蟻量	原種掃立蟻量
			化性	化期	名稱	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量
						蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量	蠶種製造者ノ原種掃立蟻量

概況

検査着手 何月何日  
 同 終了 何月何日  
 此 日數 何 日間

- (甲) 掃立蟻量ト原種蟻數トノ比較適當ト認定セリ
  - (乙) 右比較不適當ト認定シタルニ依リ其事由ヲ調査セシニ云々
  - (丙) 云々
- (右ノ外参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)
- 右 及 上 申 候 也
- 年 月 日
- 東京府蠶種検査所 主幹 氏 名 印

東京府知事宛

(備考) 本表ハ化性化期別ニ區分調製シ郡區町村毎ニ小計シ終リニ通計ヲ付スヘシ以下諸表之ニ準ス  
 但シ原種母蛾検査功程上申書ヲ除ク

第二号 書式

蠶兒成育ノ狀況視察上申書

甲	乙	丙	蠶兒ノ令期		飼育蠶兒ノ凡頭數		健全蠶百ニ對スル病蠶ノ歩合		病蠶ノ各種類		蠶種製造者ノ住所		氏名
			化性	化期	名稱	蠶兒ノ令期	飼育蠶兒ノ凡頭數	健全蠶百ニ對スル病蠶ノ歩合	病蠶ノ各種類	蠶種製造者ノ住所			

概況

- 検査着手 何月何日  
 同 終了 何月何日  
 此 日 數 何 日間
- (甲) 成育最モ佳良ニシテ云々
  - (乙) 成育普通ニシテ云々
  - (丙) 成育最モ不良ニシテ其ノ原因ヲ調査セシニ云々
- (右ノ外参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)



右及上申候也

年 月 日

東京府知事宛

東京府蠶種検査所主幹 氏 名 印

(備考) 健蠶百ニ對スル病蠶ノ歩合欄内ニハ病蠶ノ各種類ヲ合計シ健蠶百ニ對スル歩合ヲ掲ケヘシ

第三號書式

種繭及掃殻検査上申書

化性	化期	名稱	掃立 蠶量	同上ニ對ス ル取繭 樹量	合 格	種 繭	繭 層量	蠶量一匁同功繭其ノ蠶種製造者ノ取繭量他ノ繭樹量	住 所	氏 名

概況

検査着手何月何日

同日終了何月何日

此日數何日間

取繭ノ狀況視察ヲ爲シタルトキハ之ヲ附記スヘシ

(右ノ外参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)

右及上申候也

年 月 日

東京府知事宛

東京府蠶種検査所主幹 氏 名 印

第四號書式

蠶種及出壳繭検査上申書

化性	化期	名稱	掃立 蠶量	同上ニ對ス ル取繭 樹量	出壳繭 數	出壳繭一升平均 枚數	原種 製絲用種 蠶數	蠶種製造者 住所	氏 名

概況

検査着手何月何日

同日終了何月何日

此日數何日開

産卵ノ狀況視察ヲ爲シタルトキハ之ヲ附記スヘシ  
(右ノ外参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)

右及上申候也

年 月 日

東京府知事宛

東京府蠶種検査所主幹 氏

名印

第五號 書式

原種母蛾検査功程上申書

月 日	検査未済蛾數		検査済蛾數		差引現 在蛾數	検査員 數
	受付數	越高數	有毒數	無毒數		
計						
累計						

右及上申候也

年 月 日

東京府蠶種検査所主幹 氏

名印

(備考) 検査員一人平均検査數計ノ欄ニハ六日間検査延人員ヲ以テ同期間検査ノ總蛾數ヲ除シタル蛾數ヲ掲クヘシ

第六號 書式

原種母蛾検査成績上申書

化性	化期	名稱	受付原種		検査蛾數			原種用印アルモノ ニ製糸用種合格證 印ヲ與ヘタル數量	不合格燒蠶種製造者 住 所	氏 名
			枚數	蛾數	無毒	有毒	其他			

検査着手 何月何日

同 終了 何月何日

此 日數 何 日 間

(右ノ外参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)

右及上申候也

年 月 日

東京府知事宛

東京府蠶種検査所主幹 氏

名印

(備考) 原種用印アルモノニ製糸用種合格證印ヲ與ヘタル數量欄内右方ニハ蛾數左方ニハ枚數ヲ掲クヘシ但シ越年種ニアリテハ百蛾不越年種ニアリテハ五十蛾ヲ以テ壹枚ニ換算シ端數ハ四捨五入スルヲ要ス

第七號 書式 蠶兒異動調

化性	化期	名稱	蠶		授		受	
			總頭數	授受數	殘頭數	住所	氏名	住所

(右ニ付参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)

右ハ蠶種検査法實施手續第六條ノ手續ヲ經授受シタルモノニ有之此段及上申候也

年 月 日

東京府蠶種検査所主幹 氏 名 印

東京府知事宛

第八號 書式

合格種繭異動調

化性	化期	名稱	種繭		授		受	
			總樹量	授受樹量	殘樹量	住所	氏名	住所

(右ニ付参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)

右ハ蠶種検査法施行規則第二十條ノ手續ヲ了シ授受シタルモノニ有之此段及上申候也

年 月 日

東京府蠶種検査所主幹 氏 名 印

東京府知事宛

第九號 書式

原種用證印後蠶種異動調

化性	化期	名稱	原種用證印ヲ與ヘタル蛾數		製糸用種ニ變更シタル蛾數		同上枚數	原種現在蛾數	變更ノ事由	製造者住所	氏名
			原種用證印ヲ與ヘタル蛾數	製糸用種ニ變更シタル蛾數							

(右ニ付参考上必要ト認ムル事項ハ附記スヘシ)

右ハ蠶種検査法施行規則第十八條ニ依リ變更シタルモノニ有之此段及上申候也

年 月 日

東京府蠶種検査所主幹 氏 名 印

東京府知事宛

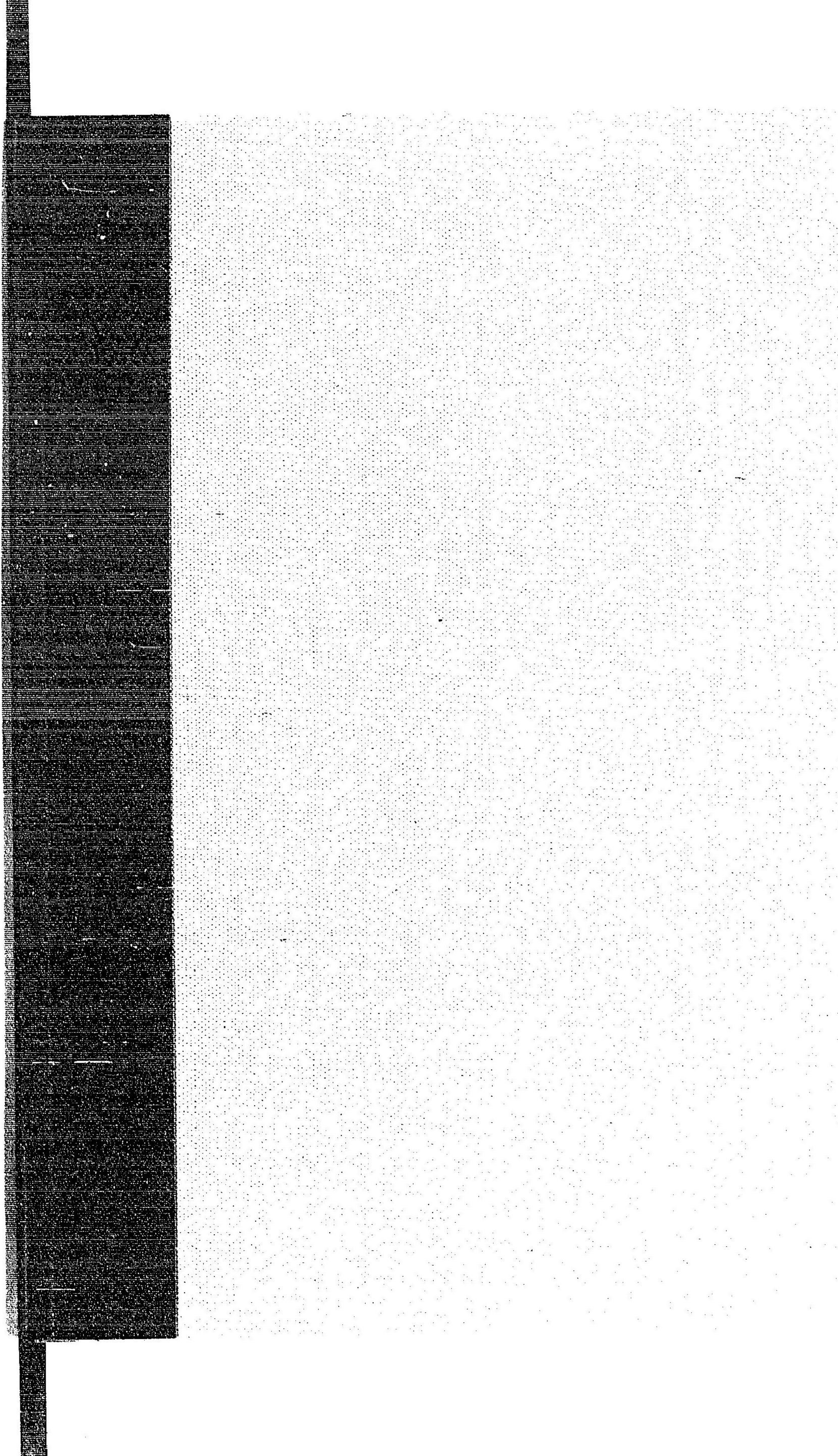
(備考) 枚數ノ欄ニハ越年種ハ百蛾不越年種ハ五十蛾ヲ一枚ニ換算シ端數ハ四捨五入シテ掲クヘシ

明治三十四年六月四日印刷  
明治三十四年六月七日發行

編輯兼發行所 東京府

印刷人 渡邊壽彦

印刷所 全府全郡全町全番地 渡邊活版所



CZ  
431  
0111

蚕種検査法規類纂  
蚕糸業法  
国立国会図書館

禁電子式複写

037630-000-0

CZ-431-0111

蚕種検査法規類纂

東京府

M34

BBU-0247



